

「いま注目を浴びている環境低負荷材料・バイオマスプラスチック」

～その変遷と高機能化、そして可能性～

九州大学と西日本シティ銀行および NCB リサーチ&コンサルティング共催の「第18回ビジネス創造交流会」を下記の通り開催いたします。この会では九州大学やその他大学、研究機関の研究内容や研究成果を地元の企業様に解り易く解説し、セミナー後の懇談会では研究者と参加者で自由闊達な懇談を行っていただく時間を用意しております。新規事業の開拓や業務の課題解決の参考にして頂けますよう、奮ってご参加ください。

講演 16:00~17:00

プラスチックは現在我々の生活に欠かせない材料であり、その生産量は年々増加し、世界全体で年間3億トンを超えています(*1)。しかし、その大半がたった一度の使用で廃棄され、その一部がマイクロプラスチック(*2)として海洋生物の生命を脅かす等、世界的にも大きな問題となっています。

昨今、プラスチック廃棄物問題の解決策の一つとして、石油以外の生物資源から作られるバイオマスプラスチックが注目されています。これまで、様々なバイオマスプラスチックが開発され、中でもトウモロコシなどを原料としたポリ乳酸が最も普及しています。今後3年間で世界での年間生産量が26万トンから80万トンへ急増すると見込まれていますが、プラスチック総生産量の1%にも届きません。本講演では、バイオマスプラスチックの変遷と、現状の問題、および用途拡大のための高機能化や将来性について紹介します。また、現在研究を進めている常温で成形可能なバイオマスプラスチックについても説明します。

(*1) 国内生産量も年間約1,100万トンと増加傾向(日本プラスチック工業連盟資料引用)

(*2) マイクロプラスチック=海洋等環境中に拡散した微小なプラスチック粒子

講師：九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所

CO2 分離・転換研究部門 准教授 **谷口 育雄**

(たにぐち いくお)

質疑応答、懇談会 17:00~18:00

ファシリテーター：九州大学 学術研究・産学官連携本部 アドバイザー 若林 宗男

2018年12月21日(金)

午後4時~6時(受付開始 午後3時半)

申し込み(参加費：無料)

次の必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでお申し込み下さい。(書式は自由)

①氏名 ②会社名・部署・役職名 ③電話番号 ④メールアドレス

定員：30名(締切：12月14日(金)、応募者多数の場合抽選)

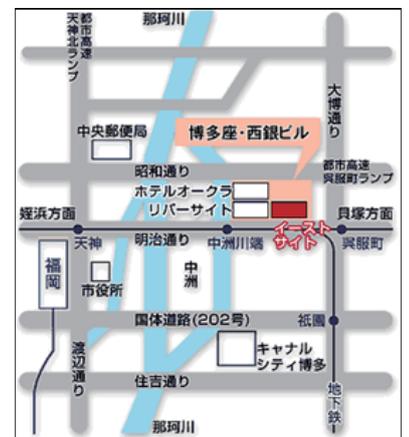
申込み先：九州大学 学術研究・産学官連携本部 松尾 宛

Mail: business@airimaq.kyushu-u.ac.jp / FAX: 092-832-2195

問い合わせ

九州大学 学術研究・産学官連携本部 松尾 TEL: 092-832-2127

西日本シティ銀行 地域振興部 大庭 TEL: 092-476-2743



場所：
NCBリサーチ&コンサルティング
セミナー室(博多座・西銀ビル13階)
福岡市博多区下川端町2-1
TEL: 092-282-2662